

Liberal Arts Letter for Freshmen



ハイライト：人工知能AIに負けない「生きる力」

留学体験記

発達障害やメンタルヘルス不調への連携支援体制

学生の試験等における不正行為について

人工知能AIに負けない「生きる力」

君たちが群馬大学に入学した今年2016年は、歴史の一大転換点であったと、未来の歴史書に記されるかもしれない。イギリスでは6月23日の国民投票でEU離脱派が勝った。日本では7月の参院選で、初めて18、19歳の年齢の人も選挙に参加した。技術の世界では、3月15日に、人工知能「AlphaGo」が囲碁の世界王者に勝利した。

どれも大きな出来事であるが、大学の教育・研究に多大な影響を与えるのは、人工知能AIの進歩であろう。君たちの子供たちが社会に出る頃には、医者や弁護士の仕事も含め、大半の仕事をAIが受け持ち、今必死に勉強している外国語も完璧な音声認識自動翻訳機が登場して、何の苦勞もなく世界中の誰とでも会話できるとも予測されている。この予測よりもずっと早く、君たちが現役で働いている間に、そうなるかもしれない。計算速度や記憶能力でAIに人間は勝てない。AIに仕事を奪われると警告する人もいる。

人間には独創性や発想性があり、その分野でなら勝てるという人もいる。しかし、既存のものを組み合わせ、AIに新しいものを生み出させることは実現できている。実際、「AlphaGo」は、これまでプロの囲碁棋士でも思いつかなかった手を打ったのだ。レンブラント風の絵を描くAIも登場してきている。AIには常識がないから、常識に捕らわれない発想で将来、ノーベル賞をとるような研究をAIが行うだろう、と予言するAIの専門家もいる。数学定理を自動で発見するAIも存在する。

しかしながら、そのAIが発見する、言い換えると、生み出す数学の定理は、数学者が見るとあまり美しくなく、拡張性や応用の可能性に乏しいものばかりだという。なぜなら現在のAIは、新しいものに対して価値判断ができないからだ。ものを生み出そうとする時、「良いもの」「価値のあるもの」といった観点は、AIにない。ただ既存のものに対する判断基準をAIは学ぶことはできる。例えば、これまでに美しいと判断されている絵は、こういった特徴を持つものだとAIに教えるのだ。現在の進歩したAIは、具体的に人間が細かく指示しなくとも、絵を見せるだけで特徴を自動で抽出するらしいが、しかし、最初に人間が美しい絵を選ぶ必要がある。

ところが、数学の分野に限らず、ある分野に精通した人は、これまでのジャンルにない全く新しい法則・定理・芸術作品等を目の前にしても、価値判断を下せる。良いものは良いと。それをAIに持たせることは、現時点の技術ではとてもできない。

単に覚え込んだ専門知識は、直ちには無駄にはならないであろう。しかし、AIの急速な進歩を考えると、君たちのこれからの長い人生すべてを、大学時代に身に付けた専門分野の知識それだけで支え続けられるかは疑問なところだ。



大学教育・学生支援機構
大学教育センター運営委員会
教養教育部会長
理工学府教授 高橋 浩

目次	
人工知能AIに負けない「生きる力」	1
留学体験記	2
グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成コース	3
発達障害やメンタルヘルス不調への連携支援体制	3
台風等自然災害における休講等について	4
草津セミナーハウスの利用について	4
学生の試験等における不正行為について	5
平成27年度教養教育ベストティーチャーによる公開授業開催について	5
教務システム関連情報	5

知識を身に付けるとともに、適切な判断ができる価値判断基準、一種の審美眼を、今のうちにしっかりと確立することが重要であろう。これを行うのに最適な時期は、様々な分野の科目、様々な教員、様々な学部の学友と接することができる教養科目を学んでいる今であろう。

日本学術会議が2010年に発表した提言『21世紀の教養と教養教育』（<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-tsoukai-4.pdf>）には、「科学技術や「知」の在り方が問い直されるようになってきた」

現状を踏まえ、問われていることは「価値と倫理の再編・再構築」であると書かれている。想定されていない状況が起こった時、つまりは、従来の知識が役に立たなくなる事態となった時、適切な判断をする礎となる適切な価値基準が、「生きる力」の根源となるだろう。

留学体験記

わたしは、群馬大学GFLオーストラリア短期留学プログラム「**Science Communicator Study Tour Program**」に2016年2月20日(土)～2016年3月19日(土)まで約4週間参加しました。オーストラリア、シドニーにあるマッコーリー大学で午前中は英語の授業を受け、午後は週2-3日は企業訪問や研究室見学をしたり、生物などの専門的な授業を受けました。滞在方法は学生1人に対し1家族のホームステイでした。

*学校生活やホームステイ先での生活

大学での英語の授業は事前に行われたプレイスメントテストでクラス分けされていました。生徒数はクラスによって異なりましたが、主に日本、中国、韓国からの留学生から成っていました。また、シドニーで働いている社会人も英語を学びに来ていました。授業は、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングのすべてを鍛えられるようなものでした。特に、あるテーマを与えられ、数人のグループで話し合うなど、自分の考えを述べる機会が多く、初めのうちは言いたいことをなかなか上手く言うことができず、もどかしい気持ちになることもありました。徐々に慣れていき、スピーキング力の向上につながったと思います。授業の休憩時間にはクラスのみみんなでトランプをしたり、会話をしたりと、交流を深めることができました。ホームステイ先では、日本やオーストラリアの文化について話したり、一緒にテレビや映画を観たりと、ホストファミリーとの時間も有意義なものでした。

*観光

予定のない午後や週末は、観光をしました。現地で知り合ったマッコーリー大学の学生や中国からの留学生と食事に行ったり、一緒に観光をすることもありました。シドニーには、オペラハウスやハーバーブリッジの他にも観光名所がたくさんあり、時間が足りないくらいでした。町並みはきれいで、海や山に行くこと

もでき、とても楽しむことができました。

*まとめ

様々な国の人と交流することができ、視野が広がったと思います。英語でコミュニケーションを取ることができましたが、自分の言いたいことをきちんと伝えることはできず悔しい思いをすることもありました。今回の留学を無駄にしないように、今後の英語の学習につなげたり、自国や他国の文化を学ぶ姿勢を忘れないようにしていきたいです。

理工学部
化学・生物化学科2年
木暮 真菜



グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース



【成果報告会】

群馬大学GFLでは平成28年5月14日（土）に平成27年度の成果報告会を実施しました。GFL生たちが昨年度のGFL活動や留学体験について、口頭発表やポスター発表を行いました。

講師には本学卒業生で現在は本田技研工業株式会社 欧州地域本部の林克也氏をお招きし、「群馬から世界へ！」というタイトルでご講演いただきました。

発表内容をまとめた予稿集は荒牧キャンパス学生会館2階 国際交流課で配布しています。

来年度も同じ時期に成果報告会の実施を予定していますので、興味のある方の参加をお待ちしています。

【GFLが企画する各種講演会】

GFLでは後期水曜9-10時限に、一般学生も参加可能な講演会を企画しています。日時や場所、講演タイトルなどの詳細は掲示でご案内します。普段はなかなかお聞きすることのできない講演内容を予定していますので、GFL生以外の方も奮って参加してください。

GFLに関する問い合わせ先

1. 教育・社情GFLコース

・教育学部 教務係
(教育学部C棟1階 事務窓口)

・社会情報学部 教務係
(社会情報学部棟3階 事務窓口)

E-mail : kyousyagfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp

2. 医理工GFLコース

・学務課 医学科教務係
・学務課 保健学科教務係
(昭和キャンパス 共用施設棟3階)

・理工学部学務係
(桐生キャンパス1号館1階)

E-mail : irikougfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp

3. GFLコース全般

・国際交流課 GFL担当
(学生会館2階 事務窓口)

E-mail : gfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp

発達障害やメンタルヘルス不調への連携支援体制



健康支援総合センター
教授 竹内一夫

【健康支援総合センターより】

発達障害やメンタルヘルス不調に悩む学生の抱える問題の解決には、本人、家族、そして専門医療機関の努力が必須です。一方、こうした学生が学生生活を滞りなく送ることができるように、本学の健康支援総合センターでは、医療・保健面での相談支援を行っています。障害学生サポートルームは修学面や学生生活全般における相談支援を担当していますが、両者は常に緊密に連絡を取り合い、協同して対応を行っています。医師、臨床心理士、ソーシャルワーカーといった、専門の異なる教職員が連携して当てることで、幅広い学内支援を実現しています。どうぞ積極的に活用してください（文責：竹内一夫）。

健康支援総合センター 相談受付
月～金曜日 9:00～12:00, 13:00～16:00
TEL 027-220-7163

【障害学生サポートルームより】

みなさんは、「障害学生サポートルーム」をご存知ですか？荒牧キャンパス教養教育GB棟の1階104と桐生キャンパスの1号館学生支援係奥にあります。身体的な障害学生の支援をしている場所と認識されている方が多いと思いますが、発達障害学生・メンタルヘルス不調学生の支援も活発に行っています。履修計画の相談をはじめ、修学に関する支援全般を行います。面談で状況を把握して、困りごとを解決するための方法を一緒に考え、学生自身が実行できるような支援をしています。学生生活で困っていること全般についても相談にのります。支援内容は、学生の希望をもとに学内各方面と相談して細か

く決めていくため、ひとりひとり異なります。

1年生のみなさんは、大学生活を開始してから半年が経過しました。大学生活は高校までとは違う部分がたくさんあり、環境が変わって、一時的に心の不調が見られる場合もあるかもしれません。修学や生活に関して、自分なりに適応できるように努力されていることと思いますが、どうしてもうまくいかないと感じる場合は放置せず、下記まで是非ご相談ください（文責：小山直子）。

障害学生サポートルーム（荒牧）受付
月～金曜日 8：30～17：15
TEL 027-220-7114

台風等自然災害における休講等について

台風等自然災害により、本学が所在する地域に暴風、暴風雪、大雨、大雪等の警報（特別警報を含む。）（以下「警報等」という。）が発表された場合や不測の事態が生じた場合、学生及び関係教職員の生命の安全確保と事故防止のため、授業及び定期試験を休講等にすることがあります。

休講等措置を行う場合は、その都度、本学のホームページ等によりお知らせしますので、群馬県内に接近する台風等の気象情報が出された場合は、本学のホームページ・教務システムを確認してください。

草津セミナーハウスの利用について

草津セミナーハウスは、関東甲信越地区国立大学の共同利用合宿研修施設として、学生及び教職員が起居を共にし、相互に研鑽し人間関係を深め、対話や学習を重ねながら教養を高め、自然に親しみ、豊かな人間性を育成することを目的に設けられました。全国有数の温泉地である草津町にあるこの施設は、有名な湯畑へも歩いて行ける場所にあり、お風呂はこの温泉水を引き入れた源泉かけ流しです。本施設には、研修室（4室）や暖房を備えた体育館があり、ゼミやクラブ・サークル活動、仲間とのグループ活動や運動など、様々に活用できますので、ぜひご利用ください。

利用手続き等は以下のとおりです。

- ◇ 原則として、4人以上のグループで4泊5日以内です。
- ◇ あらかじめ電話(027-220-7145)又は、学生センター1階4番窓口にて、空き室状況を確認のうえ予約してください。
- ◇ 利用開始の4か月前から10日前までに「使用許可申請書」提出してください。
- ◇ 宿泊室は4名部屋と8名部屋が合わせて15室あり、100名まで宿泊できます。
- ◇ 冬期はスキー、スノーボードの貸出をしています。

◇体育館の概要

面積	利用内容
540㎡ (30m×18m)	バレーボール1面、 バスケットボール1面、 バトミントン3面、卓球台5台

◇ 利用料金等詳細は、本学ホームページの「教育・学生生活」からご覧ください。

http://www.gunma-u.ac.jp/studentlife/stu005/stu005_001/g2008



学生の試験等における不正行為について

残念なことに、この前期のうちにレポートの代筆行為や引き写し行為が複数件発生しています。「試験等における不正行為」には、身代わり受験やカンニングだけでなく、毎回の授業終了時に提出するリアクションペーパーの代筆、他人のレポートの引き写しなども含まれており、この行為により停学や退学の処分になることがあります。停学の処分となった場合、留年になることもあります。また、保証人（保護者を含む。）に通知するとともに、懲戒の内容等が学内に告示されます。

学生の皆さんは、軽率な行為が重大な結果を招くことになり兼ねないことを十分に認識してください。

本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者に対する懲戒等に関する内容を明文化した「群馬大学学生の懲戒等に関する規則」については、学生便覧又は大学ホームページ「教育・学生生活」／「その他関連情報」で確認してください。

平成27年度教養教育ベストティーチャーによる公開授業開催について

平成27年度教養教育ベストティーチャー優秀賞を受賞された先生方の公開授業を下記のとおり実施します。

教職員・学生の皆さんの参加をお待ちしています。

教員名	授業科目	日時	教室
藤本 宗利 (教育学部・教授)	平安時代の文学	10月13日(木) 3・4限 10月27日(木) 3・4限	教養教育棟GA302
網井 秀樹 (理工学部・教授)	化学・生物化学 基礎Ⅲ	10月14日(金) 1・2限 10月28日(金) 1・2限	教養教育棟GC309
岩瀧 大樹 (教育学部・准教授)	カウンセリング 心理学	10月 5日(水) 3・4限 10月12日(水) 3・4限	教養教育棟GB155

教務システム関連情報

①平成28年度前期の成績について
各学期の成績は、教務システムにログイン後、「履修・成績情報」メニューで参照できますので、各自確認してください。

②履修登録について
履修登録は、教務システムで登録を行うことによるのみ認められます。したがって、履修登録をしていない授業科目（開放専門科目も含む）は、単位は認定されませんので注意してください。
なお、履修登録の際に入力漏れ等がないか「履修時間割表」を必ず確認してください。

●平成28年度後期履修登録期間
10月3日(月)～10月17日(月) 厳守
抽選は、10月7日(金) 18時までに入力された科目を対象にします。

③授業評価アンケートについて
各学期に教務システムで授業評価アンケートを実施していますので、ぜひ今後の大学の授業改善に役立つようにアンケートにご協力ください。



大学教育・学生支援機構

発行元 学務部教務課

〒371-8510
前橋市荒牧町4-2
電話: 027(220)7128
FAX: 027(220)7620

Webサイトもご覧ください。
<http://www.gunma-u.ac.jp/student/g5239>

